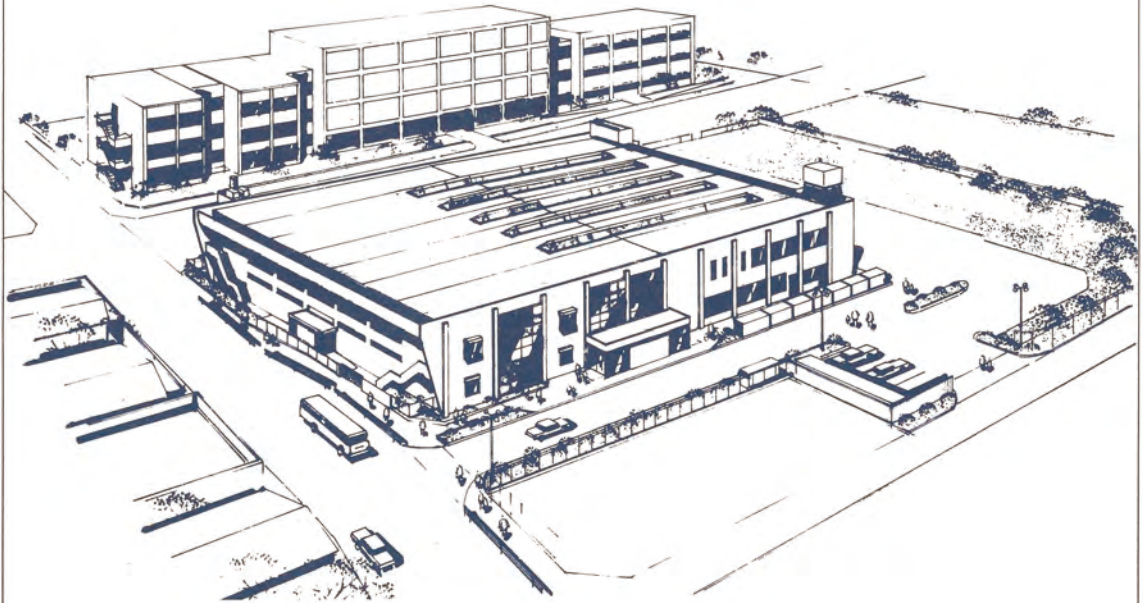


足立 No.49

区議会だより

足立区議会事務局 ☎ (882) 1111

竹の塚温水プール



10月30日から泳げる予定です

議長就任のあいさつ



清水大蔵

私はこのたび議員多数のご推挙により議長に当選就任いたしました

た。もとより微力ではありますが、円満な議会の運営と区政の進展のために最大の努力をいたす所存であります。

長期にわたる不況もようやくその脱出の曙光がみえたとはいえ、円高によるわが国経済への圧力はますます強まり生活環境のきびしさは、ますますつのつていると言わなければなりません。

地方財政もこれらを背景として大きく影響を受けざるを得ないのであります。区財政も例外ではありません。しかしきめ細かな行政施策で、区民の生活を守っていかうとしています。

区議会といたしましても、このような厳しい社会状況の中で、区民一人ひとりの幸せを実現させるように、議員各位の協力のもとに生活環境をよりよくすることをめざし、区政進展のため努力を惜しまない覚悟であります。

これからも、区政に対する深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

第1回定例会

昭和53年第1回足立区議会定例会は、3月1日に開会し、会期30日間で3月30日閉会しました。

この定例会には、昭和53年度東京都足立区一般会計予算を初めとする区長提出議案41件、議員提出議案4件が提出され、区民からの請願・陳情とともに審議されました。

第1日(3月1日) 冒頭、長谷川区長から施政方針演説があり、その中で、「これまで区政5本の柱である生活環境の整備、青少年の健全育成、社会福祉の充実、大震災対策、公害防止と緑化推進を軸として、区政全般にわたり最大の効果が上がるよう努力してきたが、新年度もまたこの5大施策を中心に積極的な区政を展開していきたい。」と述べました。

このあと監査委員永島安三議員から昭和52年度区立保育所事務監査の結果及び昭和52年度区立上総湊養護学園事務監査の結果について報告がありました。つづいて、古性直議員が辞職をしまし

たのでそれに伴う議長選挙が行われ新議長に清水大蔵議員が選出されました。最後に代表質問を1議員が行いました。

第2日(3月2日) 前日に引き続き7議員が質問を行った後昭和53年度各会計予算案を審査するため予算特別委員会が設置され、これらの子算案が付託されました。続いて昭和52年度東京都足立区一般会計補正予算(第3号)ほか議案の提案理由説明があり、それぞれの所管委員会に付託されました。

また区民から提出された請願・陳情はそれぞれの委員会に付託されました。第3日(3月13日) 各委員会に付託されていた議案のうち昭和52年度東京都足立区一般会計補正予算(第3号)ほか5件の議案が審議され可決、成立しました。

第4日(3月30日) 予算特別委員会で審査されていた昭和53年度各会計予算案は、藤木二幸委員長から審査の結果報告があり、いずれも原案どおり可決されました。そのほかの区長提出議案も各委員会審査結果どおり可決されました。つづいて運営委員会委員が提案者とな



議長選挙の投票

った「認定外道路、普通河川等公共物管理の法整備に関する意見書」(提案説明者安達正興委員長(自))、「核兵器完全禁止の国際協定に関する意見書」(提案説明者倉持伝次副委員長(公))、「成田空港、過激派暴力集団取締り、警備強化に関する意見書」(提案説明者渡辺康信副委員長(共))が提案され、全会一致で可決されました。また、刑事事件公判特例法案は弁護人ぬき裁判を合法化し、国民の人権と民主主義に危険を及ぼすものだと同法案の撤回を求め共産党、社会党議員が提案した「刑事事件公判暫定特例法案の撤回を求める意見書」(提案説明者菅原勲議員(共))について、藤波正寿議員が「撤回された場合、いかなる方法で裁判の進行をはかるのか。②犯人と共謀し、故意に審議を遅らせる弁護人の態度をどう思うか。③撤回は、過激派や赤軍派等暴

力集団を利用することにならないか。」を趣旨とする質疑を行い、菅原議員(共)から「①東京弁護士会の調査によれば裁判の進行を妨げるという事実はない。②法律家としてのモラルの問題に帰することである。③この法律案では過激派暴力集団を規制する効果はなく現行法制で十分対応できる。」旨の答弁があり、採決の結果否決されました。最後に区長から助役古性直氏の選任同意が求められ、質疑、討論の後、採決が行われ、同意を決定しました。

意見の分かれた議案など

議案名	党派							結果
	自民党	公明党	共産党	社会党	民声クラブ	無所属議員クラブ		
昭和52年度東京都足立区一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○
昭和53年度東京都足立区一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
特別区人事及び厚生事務組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都足立区職員の分限に関する条例の部の改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都足立区職員の懲戒に関する条例の部の改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都足立区職員の給与に関する条例の部の改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都足立区職員の給与に関する条例の部の改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都足立区職員の職務に関する条例の部の改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都足立区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の部の改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都足立区立学童保育所条例の部の改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都足立区立老人館条例の部の改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
刑事事件公判暫定特例法案の撤回を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都足立区助役選任の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○
注 〇賛成 △反対 △退席								

(写真の説明)
竹の塚温水プール
このプールは10月28日オープン予定で建設を急いでおり、中に小体育室や卓球コートもあり、住所は西保木間四丁目10番1号

可決したおもな議案

昭和53年度東京都足立区一般会計予算

不況の長期化による都・区財政の厳しい現況を反映し、前年度当初予算に比べ13.5%の増740億7,817万6,000円にとどまっております。歳入面では国庫支出金、特別区債等の特定財源を積極的に活用し、歳出面では既存事務事業の総見直し等厳しい内部努力を行って限られた財源をとくに福祉施設を中心とする公共施設の建設促進、きめの細かい福祉施策、青少年健全化施策の拡充に重点的に配分しております。

昭和53年度東京都足立区国民健康保険特別会計予算

歳入、歳出にそれぞれ135億5,097万6,000円計上されております。

昭和53年度東京都足立区用地特別会計予算

歳入、歳出にそれぞれ2億50万円計上されております。

昭和52年度東京都足立区一般会計補正予算(第3号)

特別区交付金、特別区債を主とする歳入により22億2,723万7,000円を増額補正するものとおもな歳出は、公共施設建設資金積立金、開発公社業務委託経費等総務費です。

これで当初予算からの合計は、713億130万9,000円になります。

東京都足立区中小企業融資基金条例の一

部を改正する条例

中小企業融資制度の充実を図るため基金の額を3億円から3億4,000万円に引き上げるものです。

東京都足立区住宅修繕資金融資基金条例の一部を改正する条例

住宅修繕資金融資制度の充実を図るため基金の額を1,000万円から1,800万円に引き上げるものです。

東京都足立区国民健康保険保養所条例

国民健康保険被保険者の健康の保持増進を図るため、保養所を設置するものです。

名称 東京都足立区国民健康保険保養所
所在地 伊豆高原あだち荘
番地 静岡県伊東市八幡野字牛戸背1,030

東京都足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例



千住新橋の工事現場をみる

特別区国民健康保険事業調整条例の改正に伴い、保険給付の額および保険料について改定するものです。

東京都足立区立児童館条例の一部を改正する条例

児童館2館を開設するものです。

栗原西児童館 足立区栗原4-19-15

小台児童館 足立区小台2-45-4

東京都足立区立学童保育室条例の一部を改正する条例

足立区立栗原西児童館学童保育室および同小台児童館学童保育室を開設するものです。

東京都足立区立老人館条例の一部を改正する条例

老人館3館を開設するものです。

栗原西老人館 栗原4-19-15

小台老人館 小台2-45-4

千住本町老人館 千住5-68

東京都足立区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例

心身障害者福祉手当制度の充実を図るため対象者の範囲を拡大するものです。

東京都足立区難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例

難病患者福祉手当制度の充実を図るため対象疾病を追加するものです。

東京都足立区立児童遊園条例の一部を改正する条例

児童遊園2園を開設するものです。

千住東一丁目児童遊園 千住東1-1-8

西保木間一丁目児童遊園 西保木間1-

16-9

東京都足立区立公衆便所条例の一部を改正する条例

花畑公衆便所(花畑4-40-1)を設置するものです。

東京都足立区温水プール条例

区民の健康と体力を向上させ、社会体育の振興を図るため温水プールを設置するものです。

名称 東京都足立区竹の塚温水プール

所在地 西保木間4-10-1

財産の取得

1. 取得目的 足立区立六木小学校(仮称)用地

2. 財産の所在 足立区六木土地地区画整理組合施行地区内仮番第24

街区8号

3. 財産の種類及び数量 土地1万1,581.43㎡

4. 予定価格 金9億3,809万5,830円

契約議案

第1回定例会で可決した契約議案を①契約金額②契約の相手方③工期に分けて紹介します。契約方法は、指名競争入札です。

東京都足立区役所本庁舎増築工事請負契約

①5億2,800万円②フジタ・堀真建設共同企業体③昭和53年12月15日まで

特別区道路線の認定

大谷田二丁目地内 延長573・20m

神明南町地内 延長69・39m

栗原三丁目地内 延長128・31m

代表質問

自民党

行政機構改正後十分な対応ができたか

【問】地方自治法の改正に伴い、基本構想策定のための審議会が設置された。民間でも総合開発協議会があり活動しているが、今までは十分な成果がないと思われる。これらに対する行政機構は、企画部と建築部に分れているが、十分な対応ができるのか。

【答】行政組織の改正は各部に分権管理をさせ、その目的はおおむね達成したと考える。今後は社会教育部の設置、下水道、都市開発事業を重点としたい。

財調貸付金の返還要求に応ずるな

【問】都財政は空前の危機で、新年度予算は非常時予算案とみるが、区に対する財調で貸付金216億円の返還要求はすじ違いである。都財政は来年も深刻化すると思われるが、公債依存度と区財政の見通しをどうみるか。



【答】足立区は都区財調交付金が大きくウエイトを占めている。今年の財調フレームで、都は216億円の返還要求をしているが、これは困るので区長会長名で応じられないと言っている。都財政の危機が区のしわ寄せにならないよう要望し、当

区もそれに準じて健全財政を維持したい。助役選任問題を問う

【問】助役ポストの責任は区長の補佐だが、きわめて冷徹な立場であり、選任は速やかに行われるべきだが、それにしてもなぜこれほど急がねばならなかったのか。

【答】助役選任で大きな犠牲を払っているということだが、63万人を越える人口をもつ足立区で、立派な方を助役にもち、計画、立案をし、足立区発展のために是非お願いをしたいということである。

千住地域の開発に努力せよ

【問】千住地域の再開発は、これまで以上の時間と努力を要するが、どのような態度で臨むのか。当



区は都市として開発がおくられており、公共事業の促進が要求される。しかしそれによって環境を犯すことはできない。住民の知らないうちに施設ができるというのは困るので、身近な公共事業では、住民に直接聞くという制度はとれないか。

【答】当区は区画整理地域を除き複雑化している。足立区発展のために地域開発は必要である。北千住駅前の再開発も連絡先の指導などして努力したい。国道4号の開発問題は反対があり、残念だが時間切れとなった。千住新橋かけ替えは打ち合せはすんだが、地元の要望もあり、建設省へ都道49号と118号を平面交差にと

いう要望をしている。国や都の公共事業では十分連絡しているが、49号では少し不十分であったと記憶している。

区職員組合の活動は適法か

【問】区職員労働組合の活動は地公法で制約されており、地方公共団体の管理運営に関する事項は、交渉事項とはならない。昨年11月に開かれた議会に提出された常東地区に保育園新設と定数は正の請願行動で、職員は活動は法の目的からそれていないか。



【答】職員組合は登録された団体であり法に触れない範囲での活動は当然である。署名運動については好ましくないと思うが勤務時間外にやったということである。

主任制度導入では教委は側面援助せよ

【問】都教委で主任制の導入を検討しているようだが、入学時期の混乱はさげねばならぬ。学校経営の責任者は校長であり、経営効果をあげるためにも教委の援助は必要と思うが見解を問う。

【答】主任制の実施に当って、法令、基準にもとづき実施し、学校長と連絡を密にする。人間関係を理解し合いながら教委の役割を配慮し、学校長と相まって本区教育の推進をはかりたい。

中小企業倒産防止法の掛金融資制度を実現せよ

【問】中小企業対策に特段の配慮と融資

施策の充実に努力し、中小企業の倒産を防ぐため、中小企業倒産防止共済法の掛金が困る業者には共済金の融資制度を実現させないか。

【答】緊急融資で4千万円を追加計上して原資も100万円アップし、返済期間も延期した。共済掛金制度は足立区は件数が多いので困難だが、中小企業の育成は区の富を増やすことになるので、前向きな検討をしてみたい。

地場産業育成と産業振興館建設をせよ

【問】実施計画(53~55年度)にも産業振興館建設が載っているのは、中心地区の拠点開発事業の一環と思う。企業ベースは困難だろうが、税収の少ない区としては長期的にみて区に貢献すると思うがどうか。

【答】地場産業の育成宣伝には努める。産業振興館も1,000人~2,000人収容のものを堤南地区に作りたいと思う。基本構想審議会でも検討していると思う。

公明党

地震予知体制を確立せよ

【問】地震予知と情報教育の見地から小中学校でナマズ、ミス、うさぎ等飼育してどうか。防災課もこれらの飼育を検討せよ。また地震発生に際して正確な情報を住民に伝達するためカセットテープをセットしたパイプの用意や電柱へのスピーカー設置等検討せよ。

【答】飼育については、学校、公害課で試験的に実施したい。連絡体制の拡充に

は、鋭意努力している。
保健行政を充実せよ

【問】保健行政の充実のために①保健所保健相談所の増設と職員増②保健相談所の業務内容を保健所に引上げることの2点が必要と考えるが計画はあるのか。

【答】保健所設置については、各区にアンバランスがある。厚生省で現在保健所に関する調査を行っている。その結果をまち増設方を強く働きかけたい。保健相談所の業務内容も充実していきたい。

勤労者福祉共済制度を設けよ

【問】区内小零細企業の保護育成とそこに働く従業員の福利向上に資するため勤労者福祉共済制度を設けよ

【答】他区の実情を調査したい。

青少年の健全育成をはかれ

【問】最近の青少年の動向をみると殺人自殺等生命軽視の風潮がみられる。学校において生命の尊厳、人間性の尊重についての教育が考えられ行われているのか。

生命の尊厳



【答】学校においては、道徳教育、学級指導、生活指導等を通じ、日常生活の中で友だちとの人間関係を指導し人間尊重と個性をのばすための計画的指導を行っている。地域、家庭と連系を保ちながらなお努力していきたい。

有害図書を排除せよ

【問】有害図書自動販売機対策として条例の制定又は要綱の作成を考えよ。

【答】青少年非行化防止対策特別委員会と連絡をとりながら「要綱」を作成すべきかどうか考える。

区の財政強化をはかれ

【問】①自主財源強化への対策を問う。②財政強化の一環としてコミュニティーボンド(区民引受債)の発行など考えないか。③超過負担解消の方策は。



財政強化

【答】①魅力ある都市づくり、中小企業の振興をはかる。②コミュニティーボンド発行については十分検討したい。③区長会、国会議員等を通じて国・都に強く申し入れる。

有効な不況克服策を実施せよ

【問】不況に対応できるように経済課の業務内容を充実させ、専門の係を設置せよ。

共産党

【答】53年度から中小企業相談窓口を設置し、不況打開の道をひらくべく充実していきたい。また区内業者のみのジョイント方式も工事規模によっては考えてもよいのではないかと思う。

非行防止のため積極的対策を行え

【問】ポルノ雑誌自動販売機の完全撤去

と非行防止のため区民、教師、区教委の統一したとりくみを展開せよ。また学校の自主的文化行事に補助せよ。

【答】非行防止のため区教委と学校は地域と緊密な連携を保ちながら対策に当たっている。学校の自主的文化行事の援助については、授業が支給対象となる上、財政負担も生ずるのでさらに検討したい。

浴場経営の安定と老人館への浴室設置をはかれ

【問】浴場経営の悪化は、燃料、電気、水道などの値上げを指導している政府にある。経営安定のために区は積極的に政府に申し入れるとともに区立老人館に風呂を設置せよ。

【答】浴場経営安定のために国・都は低利資金貸付、利子補助等対策を講じている。必要があれば都に交渉に行く。区施設の浴場設置については、予算膨張を防ぐ意味から以後実施しない方針である。

社会的弱者の安全をはかれ



【問】耐震装置つきストープを一人暮らし老人、重度障害者、母子家庭などの世帯に貸与せよ。

【答】一人暮らしで困っている老人世帯を対象として貸与を考えたい。

学童保育室の増設を急げ

【問】学童保育室の需要度が高い地区は、

学校の空教室を利用したり、校庭、区有地に学童保育室を建設する等最大限の努力をして設置をはかるべきではないか。

また入室定数40名を越えた場合、定数を守るため条理に合わせ、基準にもない尺度を指導員に考えさせているのはどういうことか。

【答】学童保育室は絶対数が足りず、地域格差もあるのでその解消をはかるため需要度に応じて建設していきたい。入室については、基準に従い、母親の勤務条件等を考慮して定数を守らざるを得ない。



社会党

公団・都住の防火対策を万全にせよ

【問】区内の公団・都住で火災が発生した場合、団地内道路に角切がないため約7割の団地は、ハシゴ車がいれない状態である。その対策として早急に角切工事を実施するよう強く働きかけよ。

【答】今後、建設されるものは、十分配慮してもらおう。既存の都住、公団についても消防活動に支障がないよう消防署、住宅局等関係機関に対し働きかけていきたい。

団地に緑を

【問】当区は、緑化対策に力を入れ実績をあげているが、さらに緑化推進をはか

るため団地住民と緑化協定を結んで団地のベランダを花と緑で飾る考えはないか。

【答】団地等集団住宅の多い当区としては、効果のあるものと考ええる。積極的な検討を試みたい。

文化財保護施策を積極的に行え

【問】区内には文化財、郷土資料が多い。それらを収集、公開することによって区の発展過程を区民に正しく理解させ、郷土愛を深めてもらうために、「文化財保護条例」を制定し、「郷土資料館」を建設せよ。



【答】文化財の収集、保護を行い次の世代に譲っていきたいと考える。伊興町に用地を購入し、学芸関係の有識者を配した「郷土資料館」を建設する予定である。「文化財保護条例」もつくりたい。

学習塾の及ぼす影響について問う

【問】今の厳しい受験体制の中で学習塾が盛んであるが、これの学校教育に及ぼす影響はどうか。

【答】塾については、学校より先に学習してしまうので授業への集中力に欠けたり遊びやクラブ、図書館等学校活動に参加できないといったマイナスがある反面学力補充がなされるプラス面もある。学校現場においては、知・徳・体の調和のある教育を進めていきたい。

民声クラブ

公共下水道の敷設
促進をはかれ

【問】今年度の政府予算案は、公共事業費を大幅に増やしているが、当区の53年度予算の下水道整備費では大幅な普及率上昇は望めないのではないか。また下水道敷設の計画変更はありうるのか。

【答】補助金等が増大しても十分の実施体制ができていないので若干おくられているが、障害を排除して予算を執行し工事進捗に努力したい。また都の方針では、計画の変更はしないとのことである。

自転車公害対策を推進せよ

【問】自転車公害の解決にはバス路線の新設が必要だがそれに対する対応策を問う。

【答】当区は、交通事情が悪いので自転車利用もやむを得ぬと考える。できる限り置場を設置し、円満に解決できるように努力したい。

学校用地確保に努力せよ

【問】学校用地は、木造都住高層化にもなつて生じる跡地に求めることが最善と考えるが、区長の所見を伺いたい。

【答】学校用地を私有地に求めることがだんだん難かしくなってきた。都住跡地については、折衝し、実現に努力したい。



意見書

(要旨)

認定外道路、普通河川等公共物管理の法整備に関する意見書

いわゆる認定外道路、普通河川等の道路法などの特別法の適用のない公共物について、無断占使用が発生し、排除命令や行政代執行が困難な事例が存在する。これら公共物についての管理をする特別の法がなく、国有財産の規定で処理されている。しかし同法には公共物について管理する詳細な規定がおかれていない。当区は地勢などからみると、これら公共物が多く散在し、円滑な行政執行の障害になっている場合もある。このことは23区で共通の悩みである。これらを解消するための管理方法を明確にする必要がある。これら公共物に対する法整備を必要とするものである。

これら公共物を実際に管理する地方公共団体には一切の財政的裏付けがなく、占使用料の帰属について配慮をされ、これら公共物の供用廃止後の処分についてその敷地が国有財産であるものは、道路法、河川法の例に準じ国有財産として存置するものを除き、実質管理する地方公共団体に無償譲与されるよう要請する。核兵器完全禁止の国際協定に関する意見書

去る2月27日からジュネーブで民間組

織の78国際団体が集まり、政治的信条や宗教の違いを越えて、①核軍縮の優先性、②核兵器使用禁止の緊急性、③軍縮における国連の役割の強化などの内容をもつ最終文書の合意を得て成功した。広島、長崎、ビキニと原水爆の被害を受けた日本国民はかかる残酷な大量殺りく兵器の核兵器全面禁止を訴えてきた。

来る5月に国連で軍縮特別総会が予定されているが、日本政府はこの総会に日本国民の悲願である核兵器の完全禁止、使用禁止を実現させる責任がある。

足立区議会は核兵器全面禁止を望む立場で、政府が国連軍縮特別総会で、その責任を全うすることを要請する。

成田空港、過激派暴力集団取締り、警備強化に関する意見書

新東京国際空港の開港式を4日後に控えた去る3月26日、過激派暴力集団約50名が空港に乱入、無防備の管制塔を占拠し、管制卓、制御盤、レーダー・プライト・ディスプレイ、テレメールなど空港心臓部の管理施設を破壊した。

このような暴挙は、単なる地元農民の反対運動とは全く異質のもので法と秩序を破壊し、わが民主主義体制に挑戦する暴力行為であり、断じて許すこととはできない。

政府はこの際これら過激派集団を取締り断固たる措置をとられ、さらに空港を不法な暴力から完全に防護されるよう一層の警備強化を図られたく強く要請する。

53年度予算 に対する質疑 (要旨)

自 民 党

- 1、助役選任問題について、その経過が不明朗ではないか。なぜ選任を急がねばならないか。また異常な事態と思われないか。
- 2、予算編成における歳入財源のとらえ方があまりに前年どおりを踏襲していないか。
- 3、都区財調フレームで5.5%減に対する見解を問う。
- 4、いわゆる超過負担となる国庫・都支出金と一般財源持ち出し分をどのようには握っているか。
- 5、財政硬直化の現状で、受益者負担の原則をとった使用料、手数料の値上げはやむを得ないが、区民感情を十分調査したか。



算特別委員会

- 6、長期基本構想および実施計画で歳入見積りと計画のおくれをどう考えるか。
- 7、市街地再開発に対して、組織作りが十分でないが、基本方針はどうか。
- 8、老人クラブ助成の申請手続きを簡素化できないか。また敬老遊覧事業を広げて対象人員を多くできないか。
- 9、保育ママといわれる資格が厳しいが、条件を緩和できないか。
- 10、区民納涼大会を大きく一回にできないか。
- 11、区内中小企業の経営近代化促進のための組織的育成の強化をはからないか。
- 12、大型マンション建設に伴い、学区



保育ママ

公 明 党

- 域の児童生徒の収容対策を考慮すべきではないか。
- 13、東部工事事務所用地は区債で購入したが、土地の用途は変更できないのに変更しているのはなぜか。
 - 14、教育の新しい課程移行にともなう区教委の基本方針が明確でないがどうか。
- の拡充はいまがよい時期なので起債の発行を増加すべきと思うが基本的な考え方はどうか。
- 2、繰越金と保留財源およびその使用の用途はどうか。
 - 3、区長移動応接室の拡充をはかり、区民相談業務の向上をはからないか。
 - 4、区民センター用地としてスタンダード製靴跡地の取得折衝状況はどうか。
 - 5、中小企業融資の貸付、返済状況および応急小口資金保証人の枠を23区内に広げられないか。
 - 6、北鹿浜公園を交通公園として早期に指定する考えはないか。
 - 7、合成洗剤の人体と環境に与える影響を考え、区の施設での使用を制限してはどうか。
 - 8、下水道枝線事業の執行体制と普及



北鹿浜公園
交通公園

共 産 党

- の見込みはどうか。
- 9、学校給食で給食の係の労働過重を解消するため、パートタイマーの活用を考えないか。
 - 10、生涯教育の徹底をはかるため、社会教育活動の一層の充実と今後の対応の姿勢をどう考えているか。
 - 11、過剰米解消と栄養や嗜好を考え、米飯給食導入を考えないか。
 - 12、幼児家庭教育学級 (日曜幼稚園) の開級式をできるだけ早期にできないか。
 - 13、また、家庭教育のあり方について見解を問う。また、家庭の運動場に移動トイレを設置することはできないか。
 - 14、小学校就学前の学力差をつかむとともに、その対策をどうするか。
- 1、不況の長期化、給食費補助、老人障害者への見舞品廃止などの一方、議会費の節減がない。区長給与、管理職手当の一部カットを含め議員歳費の引上げを中止すべきではないか。
- 2、新規の不況対策がない。零細業者失業者向けに年利3%程度の長期返済融資制度を新設する考えはないか。
 - 3、住宅修繕資金は実態に合わないから、当面50万円程度にアップしないか。



- 4、都区財政危機克服のため区長は区民に訴え、区民運動の先頭にたたないか。
- 5、競争でなく老若男女が楽しく参加できるファミリーマラソンを実施しないか。
- 6、住民の負担増、行政サービス低下につながる公設民営の保育園運営などは再検討をしないか。
- 7、子ども達によい文化を与えるため学校の自主的文化行事に補助をしないか。
- 8、白血病を難病に指定できないか。
- 9、下水道工事被害補償に営業補償がない。都に積極的に申し入れないか。
- 10、都から移管を待たず、区単独で福祉作業所を早急に新設する考えはないか。
- 11、湯河原のあだち荘に安い駐車場を確保出来ないか。
- 12、62万区民の文化の殿堂にふさわしい文化会館を千住地区に新設し、今の文化会館を充実しないか。
- 13、公立幼稚園の募集を私立の前行い、区民の入園料などの負担を軽くすべきではないか。
- 14、一般区民と格差を広げる不公正同和行政を是正する考えはあるか。
- 15、区の責任でアパートを確保し、老人世帯に貸与する考えはないか。

社会党

1、国の7%経済成長率に対する見解を問う。

私立幼稚園



公立幼稚園

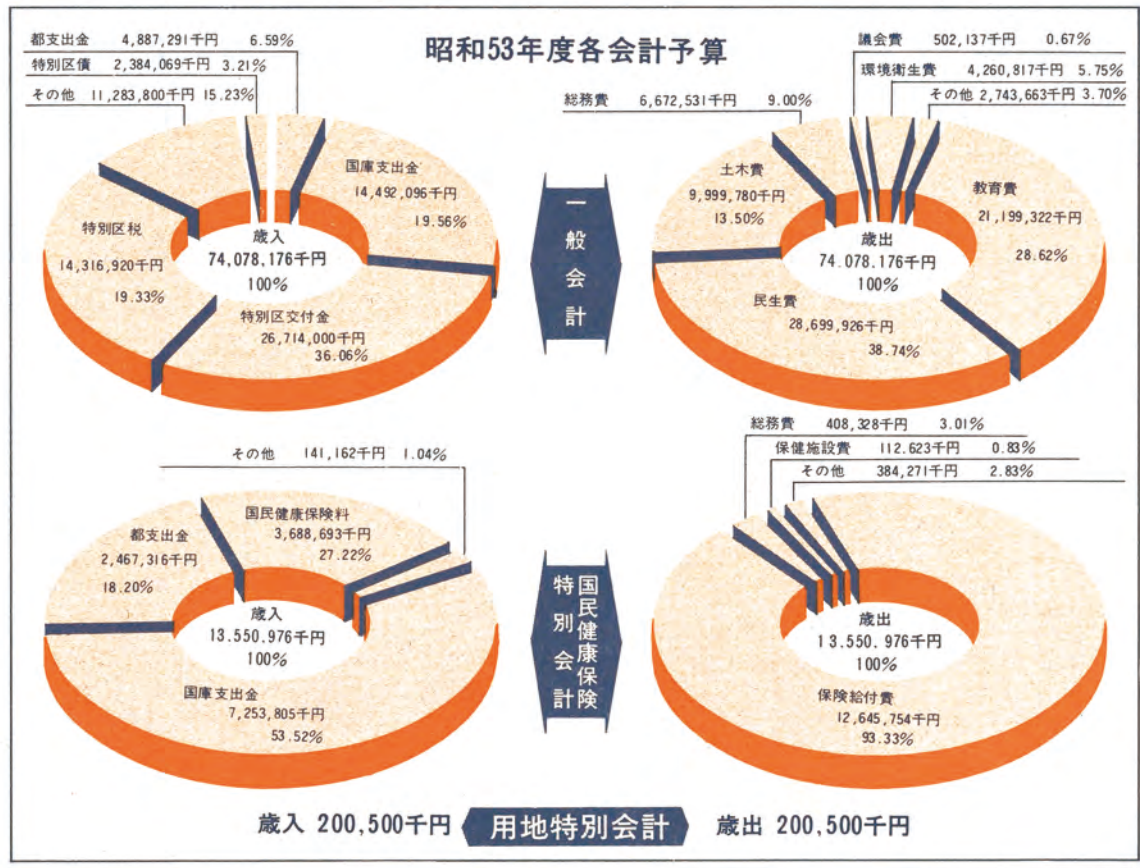
- 2、非常勤職員の採用と期間を問う。
- 3、超過課税と現行地方税法との関連を問う。
- 4、タバコ消費税増取対策と積極的な購買P・Rの疑義を感ずるが、考えはどうか。
- 5、ナースバンク制度の目的および考え方と職業安定法との関連をどう考えているのか。

民声クラブ



無所属議員クラブ

- 1、都が起債制限団体になった場合、特別区への影響はどうか。また、歳入欠陥が起った場合の都区財調への影響はどうか。
- 2、国の公共投資による経済刺激政策の区への波及効果はどんなものか。
- 3、選挙の事前運動に対する警告の実態はどうなのか。



53年度予算に対する討論

自民党

賛成

公選区長最終年度で、事務事業の見直し、経常経費の節減などの内部努力に加え、実施計画をふまえて国庫支出金などの特定財源を積極的に活用して、福祉施設を中心とする公共施設の建設を促進しようという意欲を評価する。なお、次の点を要望しておきたい。①高齢者事業団の発足に当り、老人健康管理と生きがいを感じる合理的運営を配慮されたい。②不況に悩む中小企業の倒産を防ぐため倒産防止共済制度の掛金貸付などの活用を研究されたい。③下水道の枝線工事は区民が待望していたものであり、執行は積極的に行われたい。④竹の塚駅前公衆便所設置は必要と認めるが、大きな投資となるので、慎重な検討を望む。⑤交通安全、震災対策上角切り予算の執行に当っては、実施要綱等を作って積極的に活用されたい。⑥マンションなど大型集合住宅の建設に伴う児童生徒の収容対策と学区編成を考慮され、16中のプール建設は積極的に望みたい。⑦青少年非行化防止対策として、地域のボランティアが主催するスポーツ大会の助成を増額されたい。

公明党

賛成

見込み得る限りの収入を計上し、わが

共産党

反対

国民健康保険特別会計は賛成
別会計は賛成

党の要望も多く取り入れ、公約実現に努力した予算とみとめ、今後の補正計上を期待して評価し、次の点を要望する。①深刻な不況に対して区独自の総合対策をたてられたい。②区内の商工業者に対して、大量発注の受入態勢を確立するように指導されたい。③フアクシミリの導入等出張所機能の拡大と名称の変更をアンケート等により区民の要望に應えられたい。④老人福祉センターと各地域老人会を結ぶ巡回バスの実現をはかられたい。⑤区民に郷土愛と人生に潤いを持たせるため、公園内に結婚、卒業時の記念植樹コーナーを造るよう検討されたい。⑥環境整備資金の貸付限度額を一世帯100万円に増額してP・Rに努められたい。⑦東綾瀬プールパークをすみやかに建設されたい。また、綾瀬川浄化を強力に推進されたい。⑧区民大学、老人大学の早期実現を望み、親と教師などとの直接参加する幼児教育行政の見直しをはかられたい。

区民生活と営業が深刻な危機にある中で、区民の区行政にかける期待は大きい。本予算をみると①財源獲得に積極姿勢がみられない。大企業本位の不公平税制の改善、超過負担の解消、行財政制度の改革など対政府交渉の姿勢がなく、形式的な要求になっている。②今日の不況緊

社会党

賛成

急対策がみられない。③福祉施策等をはじめ、区民の切実な要求に背をむけたものと言わざるを得ない。学校給食費補助、ねたきり老人、重度障害者に対する見舞品の廃止をはじめ、今後老人館に風呂はつけないとか、保育園の管理運営を民間に委託する方向へ一歩ふみだすなど、住民福祉の切り下げ、切り捨ての方向を強めている。④青少年非行化防止は区民、教師、議会の真剣な取り組みに見合う予算がついていない。⑤同和問題における不正行政は、子ども会助成、入院助産、保木間事務所など一般区民との間に逆差別を生み出す施策が改善されぬまま予算化されている。⑥現職議長を助役にもつてきたり、本会議答弁に責任をもたないケースがあるなど議会軽視の態度がみられるなどの理由で反対する。

地方財政の危機の中で、きめ細かい施策をもちこんだ当予算を評価する。しかしいくつかの提言を付したい。①都財政危機に対しては都区で十分協議すべきである。②国の起債許可権を都に移し、区の枠を拡大して公共投資の増大をはかれ。③公立保育園を増設し、私立保育園、未認可保育園、家庭福祉員に対する助成をし、公私格差の是正をされたい。④窓口業務を強化して、区民の陳情、相談、提案などに親切かつすみやかに対応して、区民の声が反映できるよう行政機構や施設の充実をはかられたい。⑤区民の生活安定のため、生鮮食品の産地直売、生活

民声クラブ

賛成

協同組合などの育成に努め、流通機構の不当性を区民に知らせ、消費者の組織化と助成をはかられたい。⑥被差別大衆と連携して部落解放行政を積極的に推進し、同特法の強化延長に努力されたい。⑦社会教育の強化と拡充のため、地域活動、文化活動、スポーツなどを奨励して、学校施設を含めた社会教育施設を充実させ、専門職員の配置をされたい。

歳入について低い伸び率であるが、苦しい予算編成に当たった執行機関の努力を多とする。各項目にわたって極めて効果的なサービスマス施策のある予算と理解する。歳出で教育、環境衛生、産業経済費の伸びは低いが内容は評価される。今後区政の円満な執行を図るに当たって要望をおきたい。①特別区税の増収をはかり、区民に区財政の実情を訴え、区政執行に区民の協力を求められたい。②保育園を適正に配置し、老人館を増設し、地域ごとに集会所を建設されたい。③区内に空地を持つ人などに協力してもらい、避難広場を兼ねた公園の増設をはかられたい。④歯科医師の不足を解消されたい。⑤学校用地の取得は全力をあげて取組まれたい。

無所属議員クラブ

賛成

但し白石議員は4号議案に反対

本予算は苦心の編成とみる。都財政危機による職員給与の定昇ストップは打撃なので、一層の考慮を望みたい。

区民の請願陳情

(52・12・16から53・3・30までに審査されたもの)

*

採択されたもの

- 公団住宅家賃値上げ反対
- マンション建築設計変更等 神明町542
- 保育園設置 常東地区、柳原地区
- 学童保育室設置 第6ブロック地区、第8ブロック地区、花畑東小学区域
- 老人館設置 弘道二丁目
- 区道認定 加平1 566先 扇1 36 1先
- 区道廃止および認定 梅島2 275先
- 区有通路設置 小台2 676 11先、伊興町前沼1,397先
- U字溝蓋かけ 東和4 6先
- 第6中学校舎鉄筋化促進
- 淵江中分校設置促進
- 用途地域変更 六月一丁目、栗原三・四丁目
- 横断歩道設置等 千住五丁目
- 不採択となったもの
- 町名変更反対 南花畑三丁目一部
- 保育園児童定数適正化
- あき教室利用による学童保育室設置 第6ブロック
- 信号機設置 中央本町2 19先

継続審査となったもの

*

- アサヒ・ベニヤ跡地利用(工場付き住宅用地)
- 全国一律最低賃金制法制化要請等(2件)
- 千住新橋称号存続
- 足立区医療行政公正化(2件)
- イトーヨーカ堂綾瀬駅前出店阻止(2件)
- 綾瀬駅前大型スーパー増築促進
- 日ノ出町マンション建設反対
- 日ノ出町高層住宅建設促進
- 日ノ出ガレージ跡地利用(公共用地)
- 日長ゴム工業公害防止
- 放射11号線公害対策等
- 足立学園校舎改築反対
- グリーンコーポ千寿マンション第2期工事建設反対
- マンション建設反対 千住東2 52 5
- ホテルシヤンデリア建設反対
- 「仮称梅田六丁目児童館・老人館」風呂場併設
- 保育園建設 綾瀬地域
- 区道認定 西綾瀬3 20 1先
- 公道角切 興野一丁目
- 歩行者専用橋改築等 神明町48先
- 高校建設用地確保
- 私立高校・高専入学経費融資あつ旋
- 足立堀之内公園存続
- 同和对策事業特別措置法の民主的改正と延長
- 同和对策事業特別措置法の強化・延長
- マルエツ関原店出店反対
- 毛長公園整備促進
- 千住五丁目地先荒川河川敷広域避難場所指定

財源獲得大会開かれる



去る2月21日品川公会堂において、特別区財源獲得大会が開かれました。今回の大会スローガンは「超過負担の完全解消、〇地方交付税率の引上げと適正配分、〇当面市なみの起債権を、〇特別区の自主性を尊重した都区財政調整を、〇住民に身近な仕事の区移管を」ということです。当日は議員も数多く参加して、大会は特別区の財源獲得に関する陳情書を国と東京都にあてて提出することを決めました。その内容は特別区がかかえている防災・公害対策、交通問題、老人、児童、教育問題、昼間人口問題等に関する、首都特有のぼう大な住民需要の実態と対応策を強く訴え、超過負担の解消、特別区の自主性を尊重した都区財政調整の運用を図ることなどを盛り込んだものです。最後に決議を採択し、大会を閉じました。

永年勤続議員の表彰

区議会議員として20年以上在職され、区政に功労されたことに対して、特別区議長会長から表彰されました。



藤来勇議員
区議会当選7回、議長3期、区議会運営委員長等歴任
住所・小台2 25



鈴木伸二議員
当選7回、副議長、財政委員長、企画総務委員長等歴任
住所・中川2 15 6



富沢孝之議員
当選6回、議長3期、副議長1期、区議会運営委員長等歴任
住所・柳原1 21 25

議員の辞職

古性直議員が2月28日に辞職されました。

■無所属議員クラブへ議員の加入
3月29日に近藤弥之吉議員が加入しました。なお幹事長は同議員になりました。

- 住所変更(住居表示によるもの)
- 若月 勇議員 保木間5 30 14
- 齊藤八郎議員 保木間3 18 10
- 須賀寿雄議員 保木間3 4 17
- 鈴木 進議員 花畑1 13 13

★次の議会は5月に開かれます